



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東  
 コード番号 5970 URL <https://www.g-tekt.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高尾 直宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 木村 誠 TEL 048-646-3400  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	67,454	21.0	2,105	28.5	3,747	91.8	2,858	106.4
2022年3月期第1四半期	55,739	68.2	1,638	-	1,953	-	1,384	-

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 10,737百万円 (451.2%) 2022年3月期第1四半期 1,948百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	66.51	-
2022年3月期第1四半期	32.25	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	292,905	173,373	55.0
2022年3月期	282,540	163,924	53.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 161,136百万円 2022年3月期 152,292百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	28.00	-	28.00	56.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	29.00	-	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	314,000	32.8	13,100	19.8	13,600	8.5	9,700	9.3	225.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	43,931,260株	2022年3月期	43,931,260株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	959,008株	2022年3月期	959,008株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	42,972,252株	2022年3月期1Q	42,931,059株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・四半期決算補足説明資料については、当社IR情報サイト（URL <https://www.g-tekt.jp/ir/index.html>）を併せてご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における世界経済情勢は、コロナ禍での超金融緩和、コロナ禍からの急激な回復に伴う需要逼迫と供給制約から、資源エネルギー価格が高騰しています。米国の連邦準備銀行はインフレ抑制を優先し、強力な金融引き締めに転じました。さらにウクライナ侵攻の長期化や中国の景気減速など不確定リスクが高まっています。

自動車業界においては、世界的な半導体不足に加え、上海ロックダウンの影響を受けて、期初は主要得意先の生産調整がありましたが、後半は生産正常化に向かっています。

当社はこのような外部環境のなか、新経営戦略として掲げている「地球環境への対応」、「EV関連事業の確立」、「人財の多様性向上」、「既存事業の変革」の4つの重点項目について推進しています。当期においては、環境負荷の低減のため、軽量化とライフサイクルアセスメントの観点からアルミ素材の可能性に着目し、新たな価値創造を目指してダイカストメーカーの株式会社アーレスティとの共同開発研究に着手しました。

当第1四半期の業績は、半導体不足や上海ロックダウンによる得意先の生産調整により、受注生産台数が当初計画を大きく下回りましたが、量産材料価格改定及び為替影響により、売上高は67,454百万円（前年同期比21.0%増）となりました。営業利益は、付加価値の減少に対し、非量産売上の採算改善、製造費用や販管費の抑制につとめ、2,105百万円（前年同期比28.5%増）となりました。経常利益は為替差益及び持分法利益等により、3,747百万円（前年同期比91.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,858百万円（前年同期比106.4%増）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①日本

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	10,425	12,841	2,416	23.2%
営業損失(△)	△393	△185	207	-

前期との主な増減理由

売上高 半導体不足及び上海ロックダウンの影響により、得意先で減産となりましたが、量産材料価格改定及び型設備売上の増加により、増収となりました。

営業損失 減産による固定費負担がありましたが、型設備売上の採算改善及び原価低減、為替差益により、営業損失が縮小しました。

## ②北米

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	18,267	22,077	3,810	20.9%
営業損失(△)	△172	△330	△158	-

前期との主な増減理由

売上高 半導体不足による得意先減産の一方で、量産材料価格改定及び為替影響により、増収となりました。

営業損失 減産による固定費負担に加え、労務費の高止まりと新機種対応に伴うコスト増加等により、営業損失が拡大しました。

## ③欧州

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	5,200	6,141	941	18.1%
営業利益	488	1,212	723	147.9%

## 前期との主な増減理由

売上高 得意先の半導体不足の影響が少なく、量産売上及び型設備売上の増加により、増収となりました。  
 営業利益 非量産売上の増加、原価低減及び要員減による労務費減少の為、大幅な増益となりました。

## ④アジア

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	6,352	9,456	3,104	48.9%
営業利益	167	127	△39	△23.7%

## 前期との主な増減理由

売上高 半導体不足及び上海ロックダウンの影響により、当初計画から大幅減産となりましたが、量産材料価格改定及び型設備売上の増加により、増収となりました。  
 営業利益 新機種立ち上げに伴う一時的なコスト増があり、残業・休出抑制及び製造費用削減を進めるものの、減益となりました。

## ⑤中国

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	14,667	16,410	1,743	11.9%
営業利益	1,250	747	△502	△40.2%

## 前期との主な増減理由

売上高 上海ロックダウンの影響により、得意先で減産となりましたが、新規受注の拡大に加え、量産材料価格改定及び為替影響等により、増収となりました。  
 営業利益 得意先の減産影響が大きく、労務費及び製造費用の削減に努めましたが、減益となりました。

## ⑥南米

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	2,064	3,856	1,792	86.8%
営業利益	207	814	607	293.4%

## 前期との主な増減理由

売上高 量産材料価格改定及び得意先の量産拡大、為替影響により、増収となりました。  
 営業利益 増収効果及び原価低減等により、増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より10,364百万円増加し、292,905百万円となりました。これは主に、為替変動に伴う建物及び構築物、機械装置及び運搬具の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より916百万円増加し、119,532百万円となりました。これは主に、短期借入金及び未払金の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より9,448百万円増加し、173,373百万円となりました。これは主に、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年5月13日発表の予想値から変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	40,685	39,314
受取手形及び売掛金	51,230	51,899
製品	1,908	2,081
仕掛品	29,081	29,756
原材料	3,872	4,067
貯蔵品	1,297	1,371
その他	8,374	9,717
流動資産合計	136,450	138,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	57,773	62,584
機械装置及び運搬具(純額)	38,645	42,083
工具、器具及び備品(純額)	11,627	12,753
土地	13,342	13,919
建設仮勘定	12,677	10,851
有形固定資産合計	134,067	142,192
無形固定資産	1,416	1,360
投資その他の資産		
投資有価証券	8,518	9,128
その他	2,088	2,015
投資その他の資産合計	10,606	11,144
固定資産合計	146,090	154,696
資産合計	282,540	292,905
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,394	29,606
短期借入金	22,247	26,564
1年内返済予定の長期借入金	12,414	9,829
未払金	6,773	7,913
未払法人税等	1,610	911
賞与引当金	1,424	1,374
その他	6,301	6,393
流動負債合計	81,165	82,592
固定負債		
長期借入金	29,019	28,016
退職給付に係る負債	1,048	1,090
役員株式給付引当金	438	456
その他	6,943	7,376
固定負債合計	37,450	36,939
負債合計	118,615	119,532

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,635	23,635
利益剰余金	103,677	105,320
自己株式	△1,707	△1,707
株主資本合計	130,261	131,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,285	1,101
繰延ヘッジ損益	1	△156
為替換算調整勘定	20,363	27,930
退職給付に係る調整累計額	380	355
その他の包括利益累計額合計	22,031	29,231
非支配株主持分	11,631	12,236
純資産合計	163,924	173,373
負債純資産合計	282,540	292,905

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	55,739	67,454
売上原価	50,820	61,699
売上総利益	4,919	5,755
販売費及び一般管理費	3,280	3,649
営業利益	1,638	2,105
営業外収益		
受取利息	70	141
受取配当金	53	72
為替差益	57	823
持分法による投資利益	120	598
その他	111	226
営業外収益合計	413	1,863
営業外費用		
支払利息	87	217
その他	11	4
営業外費用合計	98	221
経常利益	1,953	3,747
特別利益		
固定資産売却益	0	10
投資有価証券売却益	3	27
特別利益合計	3	38
特別損失		
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	33
特別損失合計	—	33
税金等調整前四半期純利益	1,957	3,751
法人税等	647	1,032
四半期純利益	1,310	2,719
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△74	△139
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,384	2,858



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,310	2,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172	△183
繰延ヘッジ損益	—	△157
為替換算調整勘定	487	7,873
退職給付に係る調整額	△18	△25
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	511
その他の包括利益合計	637	8,018
四半期包括利益	1,948	10,737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,051	10,058
非支配株主に係る四半期包括利益	△103	678

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	9,759	18,149	5,135	6,349	14,281	2,063	55,739
セグメント間の内部売上高又は振替高	665	118	64	2	385	0	1,236
計	10,425	18,267	5,200	6,352	14,667	2,064	56,976
セグメント利益又は損失(△)	△393	△172	488	167	1,250	207	1,547

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,547
セグメント間取引消去等	91
四半期連結損益計算書の営業利益	1,638

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	10,066	21,973	6,082	9,436	16,038	3,856	67,454
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,775	103	58	20	372	—	3,330
計	12,841	22,077	6,141	9,456	16,410	3,856	70,785
セグメント利益又は損失(△)	△185	△330	1,212	127	747	814	2,385

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,385
セグメント間取引消去等	△280
四半期連結損益計算書の営業利益	2,105